



しもながや

令和3年9月30日 発行

横浜市立下永谷小学校

あなたなら、どう言う

校長 鈴木陽一

「友達が遊びに来るから、早く片付けてよ。」

姉が家に帰ってきたら、弟のおもちゃや本が部屋中に散らかっていました。そんなときの姉の一言です。それに対して、弟が

「これから棚をきれいにするんだ。せっかくものをだしていたところなのに・・・。」

と言いかえました。

これは4年生国語の教材の一場面です。子ども達は、姉と弟の役を演じたりそれを聞いていたりしながら、対話として成り立っているか。成り立っていないとしたらどうしたらよいかを話し合いました。姉も弟も互いに言いたいことは言えているから成り立っていると考えの子もいました。しかし、姉も弟も、きれいにしたいと思っているのにけんかのような言い方になってしまっているので伝わっていない。お互い納得していないと思うので対話になっていないという考えもありました。姉と弟の立場になって言葉を言ってみたり第三者としてそれを聞いたりして感じたことを出し合っ、最終的には、「相手の気持ちや意見を聞こうとする姿勢を持たないと対話として成立しない。」という考えにまとめていく学習です。子どもたちは、この姉弟の立場に立っ考えようとしていました。

教材に出てくる姉と弟は互いに部屋をきれいにしたいという目的は同じです。しかしやり方やタイミングが違い、思いを共有できません。こんな場面は子ども同士だけでなく大人と子どもや大人同士でもあるのではないのでしょうか。お互いに分かり合えるためにどのように言葉かけをしたり行動したりするとよいか授業を見ていて考えさせられました。

今、こんな教材が、どの学年にも用意されています。これらの学習を積み重ねていくことで、話し合う力がつき、他の教科などの学習や日常生活にも生かせるようになり、さらに力がついていくのです。このほかにも、パンフレットや資料の読み取りをする教材もあります。これらの教材は、私たち大人も考えさせられたり勉強になったりするものが多いです。どんな教材があるか、お子さんの教科書をのぞいてみてはいかがでしょうか。

現在、感染症予防のため、思う存分交流する学習はできていませんが、安全に留意しつつもできる限り子どもたちの力が伸びていくよう努めてまいります。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様におかれましても本校の教育活動へのご理解ご協力をお願いいたします。